

plugica

もっと気軽にコンセント

コンセントをもっと自由に。

増えるモバイル機器。外出先でも充電したい。

スマートフォンやタブレットなどモバイル機器を外へ持ち出す現代。モバイル機器を「充電」をする機会が多くなってきました。しかし外出先に充電のために必要な「コンセント」はそう多くありません。——「コンセントをもっと自由にしたい」そんな発想から plugica は生まれました。



使い方は簡単。たったの3ステップで利用できます。

① アダプタを買う

② 電気を使う

③ チャージする



plugica を利用するためにはこのアダプタが必要になります。このアダプタには IC チップが入っており、電子マネーシステムのように利用します。



コンセントは通常の状態では通電していませんが、アダプタをコンセントに刺し込むことで IC から個人を認証し、通電が開始されます。



plugica の残高が残り少なくなったらチャージをしましょう。自動販売機では plugica のチャージと残高の照会をすることができます。

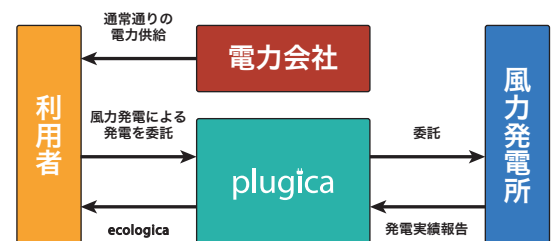
利用開始日	決済時刻	利用店舗	利用電力	支払い	チャージ	残高
2012/10/05 13:00	10/05 13:00	坂井屋 東山南商店	0.12kWh	24円	-	1,000円
2012/10/05 13:00	10/05 13:00	坂井屋 東山南商店	0.00kWh	0円	-	1,000円
2012/10/05 13:00	10/05 13:07	坂井屋 東山南商店	0.27kWh	53円	-	1,720円
2012/10/05 13:00	-	東山南 東山南サービス	0kWh	-	1,000円	1,720円
2012/10/05 13:00	10/05 13:00	坂井屋 東山南商店	3.90kWh	149円	-	770円
2012/10/05 13:00	10/05 13:00	坂井屋 東山南商店	4.62kWh	169円	-	620円
2012/10/05 11:30	10/05 11:30	坂井屋 東山南商店	0.27kWh	53円	-	1,000円
2012/10/05 11:40	10/05 11:50	坂井屋 東山南商店	1.02kWh	76円	-	1,260円
2012/10/05 11:40	10/05 11:47	坂井屋 東山南商店	2.30kWh	99円	-	1,360円
2012/10/05 11:40	-	東山南 東山南サービス	0kWh	-	1,000円	1,460円
2012/10/05 11:10	10/05 11:10	坂井屋 東山南商店	0.38kWh	62円	-	490円

マイページで利用履歴を確認できます。

ウェブサイトからマイページに登録することで利便性を格段に向上させることができます。使用中の plugica の残高を確認することができる「リアルタイム残高確認機能」や、過去に使用した店舗や消費電力・使用料がわかる「履歴機能」が提供されます。複数のアダプタを持っていても1つのログイン ID で複数を確認することができます。

地球にやさしい電気をいつでもどこでも。

plugica のサービスに「ecologica」というサービスがあります。あなたが使用した電力を自然エネルギーで発電した電力で補うことで、通常のコンセントからあなたも自然エネルギーを使ったようにする仕組みです。plugica + ecologica で地球にやさしい電力を使いましょう。



※風力発電による電力は、風力発電所の地元で使用される

plugica

もっと気軽にコンセント

コンセントが作る未来。

停電時でも優先的に使えます。

停電時には、非常用の大容量燃料電池が開放されることがあります。しかし来る人全員に電源を分けていると電池はすぐになくなってしまいます。そこで plugica は、その際に優先的に使うことのできる保険オプションを提供します。保険料によって plugica で非常時に使える電力量を変えることも可能です。

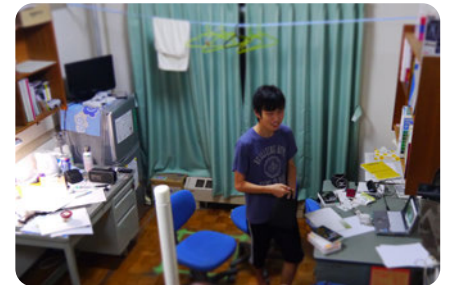


提供者へも新たなサービスを。

マイページに登録する際、利用者は年齢や住所などの情報を入力します。その情報と plugica の利用履歴から利用者に広告を配信することができます。例えば「当店で plugica を一度も利用したことない、20 代の男性」といったように。他にも plugica を利用するときポイント特典をつけることも可能です。

plugicaはルームシェアでも。

plugica のシステムはルームシェアでも活用することができます。現状、電力計は一台なので個人個人が消費した電力はわかりません。plugica のシステムでは個人がどれぐらいの電気を消費したかを計測しています。つまりこれを応用すれば、個人の負担割合を簡単に知ることができるのです。自宅でも plugica。外出先でも plugica。



システム概要

